

お盆休みの紀淡海峡シップウォッチング

事務局長 池田良穂

お盆休みは紀淡海峡を通過して大阪湾に出入する船を眺めて過ごしました。灼熱の堺市内から紀淡海峡に面する和歌山市の加太に来ると、朝夕は涼しい海風が吹き、エアコンがいらぬほど快適です。

MSC スプレディダの北海道・東北・ロシアを廻るクルーズで、涼しい中で9日ほど過ごして、猛暑と湿気でうんざりするほどの大阪に戻って、いささか体調が順応できない状態が続いていただけに、ほっとする数日でした。



朝6時、志布志から大阪南港に向かう「さんふらわあさつま」の姿が見えました。上の写真の、背景にうっすらと見えるのが淡路島の南端です。下の写真は友が島水道を通過する瞬間で、背景は淡路島の由良、手前が友が島を構成する沖ノ島の南端です。友が島という島はなく、沖ノ島と地島の2つがそう呼ばれており、沖ノ島には加太漁港から定期船がでています。



神戸港に向かう「みやざきエクスプレス」の姿です。



PCC「豊昇丸」。トヨタ系のトヨタ海運が運航する自動車運搬船です。



MOLの大型コンテナ船「MOL EXPLORER」です。



協和海運の運航する太平洋島嶼国航路に就航する小型多目的貨物 KYOWA STORK です。デッキクレーンが2基ある他、船尾にはランプウェイをもつRORO荷役ができる船です。船籍国はマーシャル諸島です。南の海らしいブルーの船体が目を引きます。



第3 福德丸



駿邦丸。小型の内港貨物船の多くは、東側の本州と地島
の間の海峡を通過していきます。しかし、ここは絶好の
鯛の漁場で朝夕には加太漁港の漁船がたくさん漁をして
おり、その隙間をみつけて航行しなければなりません。